

# 日本リハ医学会近畿地方会Newsletter

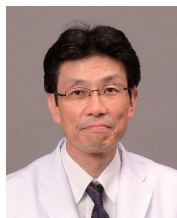


平成27年度 第2号  
2016年1月15日発行

近畿地方会ホームページ  
[www.kinkireh.com](http://www.kinkireh.com)

日本リハビリテーション医学会 近畿地方会事務局  
大阪医科大学 総合医学講座 リハビリテーション医学教室 佐浦 隆一

お問合せ先  
〒600-8815 京都市下京区中堂寺栗田町93番地 KRP6号館 3F  
有限会社 セクレタリアット内 近畿地方会事務局  
TEL: 075-315-8472 FAX: 075-315-8472 E-mail: office@kinkireh.com



## 代表幹事の挨拶

大阪医科大学 総合医学講座  
リハビリテーション医学教室  
佐浦 隆一

日本リハビリテーション医学会近畿地方会(以下、近畿地方会)会員の皆様、新年あけましておめでとうございます。また、近畿地方会の運営へのご協力に対しまして、近畿地方会幹事会を代表し心よりお礼申し上げます。

さて、近畿地方会にとって、今年はBig yearでもあります。近畿では13年ぶりとなる学術集会を久保俊一先生(京都府立医科大学)が会長として開催されます。これまでにない規模での開催となりますので、近畿地方会としても一丸となり、協力していく所存です。近畿地方会会員の皆様の全員参加を強くお願い申し上げます。

また、来年2017年10月28～29日には公益社団法人日本リハビリテーション医学会(以下、日本リハ医学会)専門医会学術集会が発展した第1回日本リハ医学会(秋季)学術集会(会長 菅本一臣先生(大阪大学))が大阪国際会議場で開催されます。同時に新専門医制度下での専門医研修プログラムも始まります。そして、2025年を目途とされる地域包括ケアシステムの構築においてもリハビリテーションは非常に重要な役割を担っています。

大きなニュースはまだ続きます。昨年6月にベルリンで開催された第9回The International Society of Physical and Rehabilitation Medicine(国際リハビリテーション医学会、ISPRM)にて、2019年のISPRM日本開催(2019年6月9-13日・神戸)が決定しました。ISPRMの招致にはISPRM招致委員会(委員長・才藤栄一先生)が中心となり、なかでも道免和久先生(兵庫医科大学)は文字通り

## CONTENTS

- ◆代表幹事の挨拶 ..... 1頁
- ◆第53回日本リハビリテーション医学会学術集会  
準備状況について..... 1-2頁
- ◆ISPRM招致・神戸開催について ..... 2-3頁
- ◆第3回近畿地区新専門医交流会の開催報告 ..... 3頁
- ◆第40回日本リハビリテーション医学会  
近畿地方会学術集会 会長挨拶 ..... 4頁
- ◆第40回近畿地方会学術集会開催概要 ..... 4頁
- ◆2016年度近畿地方会研修会カレンダー ..... 5頁
- ◆編集後記 ..... 5頁

不眠不休の努力(実際、プレゼンテーション直前は連日徹夜で作業)で招致のためのプレゼンテーション資料・DVDを作成され、ベルリンでの決定を勝ち取りました。同年の日本リハ医学会学術集会(第56回)も神戸で開催される予定です。また、同じく2019年にはInternational Society for Prosthetics and Orthotics(国際義肢装具協会、ISPO)の神戸開催(2019年10月7-10日)も決定しています。さらにその翌年には、第32回オリンピック競技大会(2020/東京)にあわせて東京2020パラリンピック競技大会も開催され、日本リハ医学会の国際化がこれから一気に進展、開花致します。

このように今から、日本のそして近畿地方のリハビリテーション医学・医療に追い風が吹いてきます。近畿地方会ではこれらの事業や課題に乗り遅れることなく、また、風に煽られて転倒することなく(笑)、足腰を鍛えてチームとして対応して参りたいと思います。

これまで以上の近畿地方会会員の皆様のパワーやアイデアと地方会への参加が必要ですので、暖かいご支援とご協力をお願い申し上げます。

## 第53回日本リハビリテーション医学会学術集会のご案内

第53回日本リハビリテーション医学会学術集会幹事  
京都府立医科大学リハビリテーション医学 准教授 池田 巧

第53回日本リハビリテーション医学会学術集会を2016年6月9日(木)～11日(土)の3日間、国立京都国際会館と隣接するグランドプリンスホテル京都で、京都府立医科大学の久保俊一副学長を会長として開催いたします。京都での開催は、国際リハビリテーション医学会第8回世界大会(IRMA VIII)に合わせて開催された1997年の第34回学術集会以来の19年ぶりで、京都の教育機関が担当するのは今回が初めてです。学術集会のメインテーマは「軌轍(Kitetsu)

と融和(Yuwa)」としております。多くの先人が積み重ねてきた知恵、すなわち軌轍を正視し、分野を超えた融和を通してリハビリテーション医学が飛躍できるようにとの思いを込めています。

現在プログラム案の骨子が確定し、鋭意準備を加速させております。多くの関連学会・協会との合同企画として、日本整形外科学会、日本運動器科学会、日本臨床整形外科学会、回復期リハビリテーション病棟協会、日本心臓リハビリテーション学会、日本摂食嚥下リハビリテーション学会、日本義肢装具学会、日本神経学会、日本脳神経外科学会、日本関節リウマチのリハビリテーション研究会、PT、OT、ST、PO協会など、リハビリテーションに携わるすべての職種が満足いただける企画が満載です。2019年6月に神戸で国際リハビリテーション医学会

(International Society of Physical and Rehabilitation Medicine: ISPRM)の開催が決定しております。それを記念してISPRMとの合同シンポジウムも開催いたします。

基調講演、文化講演、会長講演、26の特別講演、7の海外招待講演、80以上の教育研修講演を企画しております。学術集会への参加や教育研修講演などを受講することで単位を取得いただける予定です(表)。ランチョンセミナーをはじめとする共催セミナーは40以上準備しており、3日間を通して会場内で学んでいただけるプログラムとなっております。また第51回、52回学術集会に引き続き、リハビリテーション医療を専門とする多職種の方々からの演題を募集して、関連専門職ポスターセッションを同時開催いたします。

展示会場では、ロボット、薬物療法、生体物理刺激療法、義肢装具、摂食嚥下、介護福祉用品、未来を拓く展示などのテーマ別に充実した企業展示を企画しています。企業や研究機関に最新の情報を披露してもらい、日々の臨床や産学連携に結びつく機会を作ります。

6月の京都は若葉の美しい季節です。伝統と創意の街をご堪能いただき、心身ともにリフレッシュしていただければと願っています。特別企画として6月10日(金)には、世界遺産 清水寺の貸し切り夜間拝観も予定しています。学会ホームページから事前参加登録を受け付けます。事前登録していただくことで、参加費のディスカウントだけでなく、共催セミナー、ハンズオンセミナー、清水寺夜間拝観への参加登録も可能となります。是非、期間内に登録よろしく願います。多くの先生方のご参加をお待ちいたしております。

事前登録期間:2016年1月15日～4月20日(予定)

URL: <http://www.congre.co.jp/jarm53>

表

第53回学術集会に参加することで単位を取得できる学会・協会

- ・日本看護協会
- ・日本緩和医療学会
- ・日本言語聴覚士協会
- ・日本作業療法士協会
- ・日本シーティングコンサルタント協会
- ・日本小児神経学会
- ・日本神経学会
- ・日本心臓リハビリテーション学会
- ・日本頭痛学会
- ・日本摂食嚥下リハビリテーション学会
- ・日本体力医学会
- ・日本糖尿病学会
- ・日本認知症ケア学会
- ・日本脳卒中学会
- ・日本脈管学会
- ・日本リウマチ学会
- ・日本理学療法士協会
- ・日本臨床神経生理学学会
- ・日本老年医学会
- ・日本老年精神医学会

教育講演等を受講することで単位を取得できる学会

- ・日本医師会
- ・日本整形外科学会
- ・日本リハビリテーション医学会

(五十音順)

## 国際リハビリテーション医学会2019年神戸開催決定

西宮協立リハビリテーション病院 勝谷 将史  
兵庫医科大学リハビリテーション医学教室 主任教授 道免 和久

国際リハビリテーション医学会(International Society of Physical and Rehabilitation Medicine:ISPRM)が2019年に神戸で開催される事が決定しました。日本リハビリテーション医学会では2014年からISPRM招致委員会(才藤栄一委員長)を立ち上げ招致活動をおこないプロモーション活動やプレゼン資料の作成、ISPRM担当視察団の対応などをおこなってきました。

そして、去る2015年6月19日から23日ドイツベルリンで第9回ISPRMが開催され6月22日の代表者会議にてオーストラリアのシドニー、インドのニューデリーと競い日本の神戸で開催される事が正式に決定したのです。

道免教授を中心としたプレゼンチームは先にベルリンに入り、私は遅れてのベルリン到着となりました。すんなり入国できると思っていたのですがまさかのトラブル、手荷物で持っていた会議で配布予定のプレゼン資料が入ったダンボール箱を怪しまれ別室に連行、屈強なドイツの空港職員に色々質問を受けるという貴重な経験をする事に、何とか無事に荷物と共に開放され学会会場に到着、資料を届ける事ができたのは今になってはちょっとした笑い話です。

ベルリンでのISPRMには日本から163人の参加者がありオーストラリアからの参加者は49人と参加人数では大きく勝っていたものの、前評判ではシドニーが最有力候補地として招致活動を展開していました。実際、代表者会議における日本のプレゼンテーション直前まではシドニーではほぼ決定していたという話もありました。しかしながら共通の赤いチーフを胸に日本からの参加者は大学の枠を越え結束、各国の参加者に対するロビー活動や個々で日本人の存在感をアピールしていきました。

代表者会議における日本招致チームのプレゼンテーションは大成功、特に開催都市神戸における震災からの復興・再生をキーワードとした動画や日本の文



化と美しさを意識した配布物が多くの国の代表者の心を動かしました。代表者の中には涙する方もいらした程です。プレゼン終了後は部屋の外で待機する事になりホテルのラウンジで結果を待ちました。プレゼン終了後約1時間、その瞬間はおとずれました。開票結果の一報が道免教授に届いた瞬間の感動は今でも忘れられません。その後は各国の参加者から『Congratulations!』と声をかけられ、皆さん2019年のISPRM日本開催を楽しみにしてくれ

ているようでした。

今後ISPRMは2016年クアラルンプール、2017年ブエノスアイレス、2018年パリと続き、2019年6月9日(日)～13日(木)に神戸で開催されます。神戸での開催にあたっては近畿地方会の皆様のご支援、ご協力をお願いする事もあるかと思いますが、どうぞ宜しくお願いいたします。



## 第3回近畿地区新専門医交流会の開催報告

和歌山県立医科大学 リハビリテーション医学 中村 健

平成27年10月25日(日)、大阪医科大学において第3回近畿地区新専門医交流会を日本リハビリテーション医学会専門医会と近畿地方会の共催で開催いたしました。この新専門医交流会は、2年前に近畿地区の新専門医の交流を目的として開催し、今年は3回目の開催となりました。今回も昨年と同様に、専門医取得後3年以内の先生方を対象とし演題発表と懇親会の形式で行いました。近畿地区では、平成27年度も20名の新専門医が誕生しており、平成26年度と25年度の新専門医と合わせて65名を対象に参加を呼びかけ、11名の新専門医の先生方の参加があり、4演題の発表がありました。また、近畿地方会から8名の幹事の先生方にも参加頂きました。

演題発表会では、京都府立心身障害者福祉センター附属リハビリテーション病院の徳永大作先生より「病院紹介:京都府立心身障害者福祉センター附属リハビリテーション病院」、京都大学医学部附属病院リハビリテーション科の池口良輔先生より「施設と自分の紹介」、医療法人共栄会名手病院の池田宜史先生より「地域密着型中小病院におけるリハビリの現状」、近畿大学医学部附属病院呼吸器アレルギー内科の東本有司先生より「当院における外来呼吸リハビリテーションのとりくみ」という演題名で発表が行われました。施設紹介や日頃の診療の取り組みなど新専門医の先生方のご活躍を発表頂き、和やかな雰囲気のもと質問や意見交換が行われました。本年度は、2名の先生から地域病院、2名の先生から大学病院でのリハビリテーション医療の取り組みが発表され、それぞれの立場や環境における取り組みの違いが解り私自身も参考になりました。

懇親会は、例年通り大阪医科大学の地下食堂で行われ、最初

に近畿地方会幹事ならびに日本リハビリテーション医学会理事であります道免和久先生に乾杯の挨拶を頂きました。懇親会の中では、各新専門医と近畿地方会幹事の先生方の自己紹介なども行い、参加者間の懇親を深める事ができました。最後に、恒例となりました参加者による記念撮影を行い、近畿地方会代表幹事の佐浦隆一先生より閉会の挨拶を頂き交流会を終了いたしました。

本年度の交流会も例年同様、和やかな雰囲気のもと交流が行われ有意義な会となりました。この新専門医交流会も3回目となりましたが、新専門医の参加者は、第1回が9名、第2回が16名、第3回が11名となっています。参加者が、もっと多くても良いのではないかとの意見もあり、より良い交流会とするために参加対象者や開催形式の見直しなども検討していければと考えております。最後に、新専門医交流会に参加して頂いた新専門医、近畿地方会幹事の先生方に深く感謝いたします。



## 第40回日本リハビリテーション医学会近畿地方会学術集会 および専門医・認定臨床医生涯教育研修会開催にあたって

### 第40回日本リハビリテーション医学会近畿地方会学術集会 会長 中村 健 (和歌山県立医科大学リハビリテーション医学)

2016年3月20日(日)に第40回日本リハビリテーション医学会近畿地方会学術集会および専門医・認定臨床医生涯教育研修会を和歌山県JAビル(11F会議室)で開催いたします。和歌山の地で生涯教育研修会も含め近畿地方会学術集会が開催されるのは、2005年10月以来、約10年ぶりとなります。日頃、和歌山を訪れる事はあまりない先生方も多いと思いますが、この機会にぜひ和歌山にお越し頂き専門的な知識を深め、学術集会では発表や議論を交わして頂ければ幸いです。今回は、和歌山での開催という事もあり、土曜日に診療のある先生方も参加しやすいように日曜日開催とし、会場もJR和歌山駅前としております。

教育研修会では、和歌山県立医科大学附属紀北分院リハビリテーション科准教授の隅谷政先生に「義足リハビリテーションの基本」、産業医科大学リハビリテーション医学講座教授の佐伯覚先生に「経頭蓋直流電気刺激のリハビリテーションの応用」という演題でご講演頂き、リハ医療実践のための基本的な事からトピックス的な事まで広くお話が伺えると思います。また、インターバル速歩で運動学の分野では世界的に有名な信州大学医学系研究科スポーツ医科学講座教授の能勢博先生に「10歳若返る歩行術「インターバル速歩」—生活習慣病・介護予防のための新しい運動処方システム—」という演題でご講演を頂きます。お話を伺える貴重な機会ですので、ぜひご参加頂き最新の歩行術について学んで頂ければと思います。当日は、多くの先生方にご参加頂けますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

## 第40回日本リハビリテーション医学会近畿地方会 ならびに専門医・認定臨床医生涯教育研修会

開催日時：2016年**3月20**(日) 10:00~16:30

会長：中村 健 (和歌山県立医科大学リハビリテーション医学)

会場：和歌山県JAビル(11F会議室)

〒640-8331 和歌山県和歌山市美園町5-1-1

TEL: 073-488-5641

### 1. 一般演題

上記地方会幹事宛てに、所定の様式(近畿地方会ホームページでダウンロード可)に記入しメール(take-n@wakayama-med.ac.jp)でお送りください。受信確認の連絡を1週間以内に致しますので、万一連絡がない場合には、地方会幹事まで電話連絡(Tel 073-441-0664)をお願いいたします。

**演題締切:2016年1月29日(金)**

### 2. 教育講演

#### 1. 「義足リハビリテーションの基本」

和歌山県立医科大学附属紀北分院リハビリテーション科 准教授 隅谷 政 先生

#### 2. 「経頭蓋直流電気刺激のリハビリテーションへの応用」

産業医科大学リハビリテーション医学講座 教授 佐伯 覚 先生

#### 3. 「10歳若返る歩行術「インターバル速歩」—生活習慣病・介護予防のための新しい運動処方システム—」

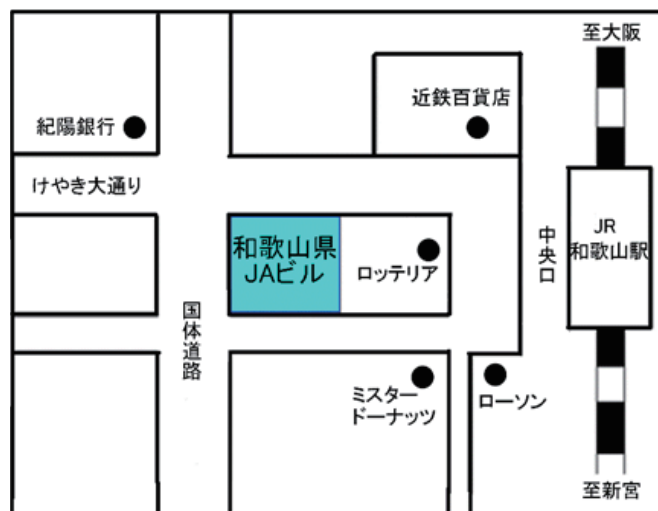
信州大学医学系研究科スポーツ医科学講座 教授 能勢 博 先生

認定単位：1講演10単位

受講費：30単位一括3,000円(別途、参加費2,000円が必要)

事前申込：不要

認定臨床医受験資格要件：認定臨床医の認定に関する内規第2条2項2号に定める指定の教育研修会(必須以外)に該当します。



JR「和歌山」駅中央口から徒歩2分

お問い合わせ先：和歌山県立医科大学リハビリテーション医学 中村 健 電話：073-441-0664 E-mail：take-n@wakayama-med.ac.jp

## 2016年度 近畿地方会研修会カレンダー

### ◆日本リハ医学会近畿地方会 専門医・認定臨床医生涯教育研修会

日時 2016年2月7日(日) 15:35~17:50

会場 国立京都国際会館アネックスホール(〒606-0001 京都府京都市左京区岩倉大鷲町422番地)

講演内容 演題1.「障がい者とスポーツ」

京都府立医科大学大学院 リハビリテーション医学 講師 伊藤 倫之 先生

演題2.「脳疾患リハビリテーションの現状と展望」

京都府立医科大学大学院 脳神経機能再生外科学(脳神経外科) 教授 橋本 直哉 先生

演題3.「神経筋疾患・脊髄損傷の呼吸リハビリテーション」

川崎医科大学 リハビリテーション医学教室 教授 花山 耕三 先生

担当幹事 堀井 基行 (京都府立医科大学大学院)

### ◆第40回学術集会および専門医・認定臨床医生涯教育研修会

日時 2016年3月20日(日) 10:00~16:30

会場 和歌山県JAビル 11F会議室(〒640-8331 和歌山県和歌山市美園町5-1-1)

講演内容 演題1.「義足リハビリテーションの基本」

和歌山県立医科大学附属紀北分院 リハビリテーション科 准教授 隅谷 政 先生

演題2.「経頭蓋直流電気刺激のリハビリテーションへの応用」

産業医科大学 リハビリテーション医学講座 教授 佐伯 覚 先生

演題3.「10歳若返る歩行術「インターバル速歩」—生活習慣病・介護予防のための新しい運動処方システム—」

信州大学医学系研究科 スポーツ医科学講座 教授 能勢 博 先生

担当幹事 中村 健 (和歌山県立医科大学 リハビリテーション医学)

### ◆第57回専門医・認定臨床医生涯教育研修会

日時 2016年4月23日(土) 会場 大阪市立大学医学部学舎

担当幹事 池淵 充彦 (大阪市立大学医学部附属病院)

### ◆第58回専門医・認定臨床医生涯教育研修会

日時 2016年7月2日(土) 13:30~ 会場 和歌山ビッグ愛

担当幹事 峠 康 (和歌山ろうさい病院)

### ◆第41回学術集会および専門医・認定臨床医生涯教育研修会

日時 2016年9月3日(土) 13:00~19:00 会場 大阪大学銀杏会館

担当幹事 菅本 一臣 (大阪大学大学院医学系研究科 運動器バイオマテリアル学教室)

### ◆第59回専門医・認定臨床医生涯教育研修会

日時 2016年10月1日(土) 会場 京都府立医科大学附属図書館ホール

担当幹事 三上 靖夫 (京都府立医科大学大学院 リハビリテーション医学)

### ◆日本リハ医学会近畿地方会 専門医・認定臨床医生涯教育研修会

日時 2016年11月 会場 兵庫県で開催予定

担当幹事 陳 隆明 (兵庫県立リハビリテーション中央病院)

※当日は同じ会場で兵庫県リハ医学会学術集会とりハ学会研修会が開催されます。

### ◆日本リハ医学会近畿地方会 専門医・認定臨床医生涯教育研修会

日時 2016年11月 会場 京都府で開催予定

担当幹事 武澤 信夫 (京都府リハビリテーション支援センター)

※当日は同じ会場で京都地域リハビリテーション研究会が開催されます。

### ◆日本リハ医学会近畿地方会 専門医・認定臨床医生涯教育研修会

日時 2017年2月5日(日) 会場 国立京都国際会館

担当幹事 三上 靖夫 (京都府立医科大学大学院 リハビリテーション医学)(予定)

※当日は同じ会場で京都リハ医学研究会学術集会が開催されます。

### ◆第42回学術集会および専門医・認定臨床医生涯教育研修会

日時 2017年3月4日(土) 会場 ピアザ淡海(滋賀県立県民交流センター)

担当幹事 川崎 拓 (滋賀医科大学附属病院)

## 編集後記

6月9日-11日の第53回リハ医学会学術集会開催はまもなくです。

近畿地方会の先生方皆様の御協力と活発な御活動をお願い申し上げます。

広報委員会

